



# KIRYO

High School  
Dousoukai

創刊号  
2022年8月吉日



## 校歌

作詞・作曲 田中重信

一、筑波嶺高く 仰ぎつつ

梅花がみつる 偕楽の

希望に燃える 若人が

集う我らの 学び舎に

鍛えよ 千波の丘の 葵陵高

ああ水戸起て 葵陵高

二、那珂の流れの 水清く

未来の灯 ともすとき

晴れて羽ばたけ 世紀の夜明け

おどる血汐の 若き日に

展け 千波の丘の 葵陵高

ああ水戸奮え 葵陵高

三、常磐の森に 水府の縁り

尽きぬ流れの 正義と愛に

真理の道を つらぬきて

栄光かおる 我が母校

輝け 千波の丘の 葵陵高

ああ水戸 我らの 葵陵高

- 発行 -

水戸葵陵高等学校

同窓会

茨城県水戸市  
千波町 2369-3

- 編集・印刷 -

同窓会事務局

〒121-0831  
足立区舎人 3-11-26EPS  
03-5839-3456 (代)



## 同窓会報創刊にあたって

同窓会会長 小林寛宣

同窓会会員の皆様こんにちは。私は同窓会会長を務めさせていただいております、1期卒業の小林寛宣でございます。コロナの終息が見えず、また円安やウクライナ・ロシア危機の影響で物価が上昇して大変な時期に、ご苦労されながらもご活躍のことと存じます。

月日が経つのは早いもので私たちの母校もつい最近35周年を迎えたかと思っていた矢先今年度37年目に入りました。卒業生は10,400名を超え、教育活動も年々充実しているようです。

進学実績は着々と伸びており、医歯薬コースでは今春医学部医学科に現役2名、過年度卒の生徒1名、計3名の入学者を出したと聞いております。また運動部では剣道部をはじめ柔道部、バスケットボール部など目覚ましい活躍が見られ、文化部では書道部、将棋部などが全国大会常連になるなど安定した活躍をされています。

コロナ禍の影響で昨年度は修学旅行が中止となってしまいましたが、今年度4月に3年生が2泊3日の行程で実施することができました。九州の長崎や福岡を中心に見学し、多くのことを学び取ってきたことと思います。また1年生の進学Vコースでは初の試みとなる林業体験学習が、奥久慈憩いの森で5月24日、26日の2日間に亘って行われました。森林観察・木工工作・丸太切り体験をローテーションで行い生徒も楽しんでいたようです。

このような母校の躍進を耳にしながら、同窓会はほとんど機能しておらず、何もできない状態でもとても心苦しい日々を送っていました。

この度水戸葵陵高校の同窓会担当の先生方のお力添えをいただき、同窓会会報の創刊に漕ぎつける事が叶い、この上もない喜びです。今後は同窓会総会開催に向け尽力させていただく所存です。更には会員相互の親睦を図るべく、同窓生どうしの出会いの場などを模索しながら母校の発展に寄与していきたいと考えています。皆様のお力添えを是非ともお願いいたします。

最後に未来を見通すことが困難な状況ではありますが、同窓会会員の皆様の益々のご健勝ご多幸を祈念してご挨拶に代えさせていただきます。



## 水戸葵陵高等学校 同窓会報発刊に際して

校長 鈴木博光

卒業生の皆さん、日頃より大変お世話になっております。新型コロナから次第に日常生活を取り戻しつつありますが、3年前、突然の長期の臨時休校があったり、ついこの間までは学校としての感染対策、授業の確保につきましては、長期休業期間、他校に先駆けリモート授業を行うなどできる限りの対策を行い、生徒の授業への影響を抑えるために学校をあげて取り組んできました。お陰様で、3年生の進路については、一昨年、そして昨年と厳しい環境の中で、医学科合格をはじめ、描いた夢に向かい本校を旅立っていきました。あらためて生徒たちの頑張りには頭がさがる思いでした。こうした環境を作って頂きましたことも皆様方の本校に残していった足跡のお陰と感謝する思いです。現在、卒業生の皆様方は、多方面において活躍されていることと思います。創立者の田中重信先生も大変お喜びなさっていることでしょう。昭和60年に、田中重信先生が三愛精神を建学の精神に掲げ開校して以来、今年で創立37年

を迎え、創立40周年記念式典に向け準備に取り掛かってまいります。その際にはご案内状を差し上げたいと考えておりますので、是非ご出席のほどお願い申し上げます。

卒業生もすでに1万人を超えております。これも一重に皆様方の本校教育への心温まるご協力、ご支援の賜物と本校教職員を代表し厚くお礼申し上げます。社会の潮流の中で、学科の再編を行い、現在では普通科の中に医歯薬コース、特進iコース、進学Vコースの3つのコースを設け、それぞれに特色を持たせ、将来のキャリア形成に向けた授業を行っております。これからも、皆様方をはじめ、地域社会に愛される「葵陵作り」を、そして皆様方が育てこられたような、思いやりのある、優しい生徒の育成を何よりも大切に、教職員一丸となって本校教育に取り組んでいく覚悟しております。なにとぞご協力、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

この度「水戸葵陵高等学校同窓会報創刊号」を発行する運びとなりました。本校の進学状況や部活動実績など、できるだけの情報を発信し、さらに皆様方からのご支援につなげ、本校発展に大きな力とさせて頂くことを期待して私の挨拶とさせていただきます。

## 水戸葵陵高等学校(旧水戸短期大学附属水戸高等学校)の沿革

年 月	学 校 歴
1985年 3月 4月	水戸短期大学附属水戸高等学校第1号館、第2号館、体育館竣工 水戸短期大学附属水戸高等学校開校 (普通科大学進学専攻コース、情報処理商業科、体育科社会体育コース) 初代校長 田中重信先生就任
1986年 3月 11月	第1号館別館竣工 第1回修学旅行(韓国)実施
1987年 4月	普通科に国際科コースを設置
1988年 3月 6月	第1回卒業式挙行 第4号館竣工 LL教室設置
1989年 10月	台湾修学旅行実施
1991年 3月 4月	第3号館竣工(トレーニング室、身体機能測定室、視聴覚室等完備) 情報処理商業科に情報処理コースと経理コースを設置 山本寛斎デザインの制服採用
1993年 4月	普通科に特別進学コースを設置
1994年 3月 4月	田中重信校長ご退任 普通科国際科コースの募集停止 第2代校長 野上浩先生就任
1995年 3月 4月 12月	創立10周年記念式典挙行 情報処理商業科・社会体育科募集停止 普通科(特別進学コース、大学進学専攻コース)のみ募集 パリ修学旅行実施
1996年 3月 4月	ロンドンホームステイ開始 水戸葵陵高等学校に校名を変更
1997年 4月 11月	学習合宿開始 野球場完成(23,000㎡) パリ・ロンドン修学旅行実施
1998年 10月	柔道場・卓球場・トレーニング室竣工
2000年 5月	新校舎竣工
2002年 4月 12月	普通科大学進学専攻コースの募集停止 普通科特別進学コースのみ募集 パリ・ローマ修学旅行実施
2003年 4月 11月	普通科に医歯薬コースを設置 駐輪場、テニスコート竣工
2004年 3月 4月 6月	野上浩校長ご退任 第3代校長 秋山和衛先生就任 視聴覚室設置
2005年 6月 10月	学校給食制導入 サッカー場及びクラブハウス竣工
2006年 9月	雨天ピッチング練習場完成
2010年 2月 3月 4月	創立25周年記念式典挙行 秋山和衛校長ご退任 第4代校長 鈴木博光先生就任
2012年 12月	パリ・ロンドン修学旅行実施
2013年 4月	普通科特別進学コースを特別進学コース、進学Vコースに改組
2015年 6月	創立30周年記念式典を挙行
2016年 11月	オーストラリア修学旅行実施
2017年 4月	特別進学コースを特進iコースに改組
2019年 2月	ウィーン・プラハ修学旅行実施
2020年 5月 6月	コロナ禍におけるリモート授業実施 創立35周年記念式典挙行
2021年 4月	新入生全員にタブレットP C (Chromebook)配布



## 卒業生の声

## 報恩謝徳

この度は、水戸葵陵高等学校同窓会報の創刊誠にありがとうございます。創刊にあたりご尽力を頂きました学校関係者の皆様に心より感謝、御礼を申し上げます。

私は水戸葵陵高等学校の前身であります水戸短期大学付属水戸高等学校の卒業生であり、現在は水戸市議会議員として街づくりに取り組んでおります。減少社会に故郷をどのように持続可能な街にしていかが私の使命ですが、そうした思いに至る原点は高校時代に沢山のよき思い出を育む事が出来たからではないかと考えております。

眼を閉じれば今でも茶色の制服や青いジャージが、そして各学び舎には今よりも恐らくもっとやんちゃで血気盛んだった生徒達が走馬灯のように蘇ってきます。そうした血気盛んな生徒達も今では年齢を重ね大人になりそれぞれの社会で頑張っております。そうした今を生きる元生徒達にとって今回の同窓会報の発行は、忙しい毎日

の中で少し昔の自分に立ち返り懐かしむ事の出来る機会だと思えます。今回の同窓会報の創刊を通して、時期は違えども同じ学び舎から巣立っていった多くの卒業生が当時の同級生や部活そして母校を懐かしみ改めて繋がっていきそうした機会になり、その繋がりが水戸葵陵高等学校の更なる発展に寄与する事を願っております。

改めて当時お世話になりました担任の先生をはじめとする学校関係者の皆様、そして今ではほとんど会う機会がなくなった当時の同級生のみんなに心から感謝をし、その頂いたよき思い出に報いる為、持続可能な地域社会の構築にむけ更なる精進をしていく所存です。

同窓会報の創刊にあたり寄稿させて頂く機会に恵まれました事に改めて感謝を申し上げ、これからの水戸葵陵高等学校の益々のご発展と現役生徒達のご活躍を祈念しております。

木本 信太郎 (1996年卒業)



## 長い歴史と伝統の第一歩である同窓会報発行を祝して

この度は水戸葵陵高等学校の同窓会誌を発行することになったと伺い、我が母校も着実に歴史を刻んでいるのだと感じ大変嬉しく思います。と言いますのは、私が葵陵高校に入学したのは2002年で、創立から16-7年、名称が変わってから数年ということもありまだまだ新設校の扱いでした。特に歴史の短い学校を出たということ意識していたわけではありませんが、私が現在所属している水戸済生会総合病院消化器内科には12名のスタッフが在籍しており、うち5名が水戸第一高等学校の出身で、同窓生がたくさんいることを羨ましく思うことがありました。歩く会の話など、年代を超えて共通に分かち合える話題が豊富なようで、共通の話題を中心に打ち解けあえるのが羨ましく思えます。昔は医療者には派閥(基本的には大学ですが)のかかわりがあったようですが、現在はほとんど感じられなくなっていますので、実際に出身がどこであるとのことで困ることはないのです。

しかしよくよく考えてみますと、当院の同期に葵陵高校の元後輩がおりますし、スタッフのご子息が葵陵高校に通っているとのことで葵陵高校のあるある話に花を咲かせたり、私の在学中にいらっしゃった体育の先生の甥御さんが当院で勤めることになりご挨拶に来てくださったこともあったりなど、葵陵高校を通じたつながりというのも実は結構あったことに気づきます。

私自身も地元で就職している立場ですので、葵陵高校の後輩たちにとって少しでも意味のある先輩になれるように精進していきたいと思えます。

とりとめのない話になりましたが、水戸葵陵高等学校がこれからも更なる歴史を重ね、本同窓会誌を引き続き発行していくことができることを祈りつつ閉じさせていただきます。ありがとうございます。

金野 直言 (2005年卒業)



## 我が愛しき水戸葵陵高校の思い出

愛する我が母校である水戸葵陵高等学校の同窓会報創刊、心よりお祝い申し上げます。

在学中を振り返って、真っ先に思い浮かぶのは給食です。その反動か、パンを求めて購買はいつも大賑わいでした。卒業してからマッチポンプという言葉覚え、「もしかして...」と思ったことは秘密です。

当時男子は腰パン、やたらノットの大きなネクタイ、大きな腕時計や数珠を身につけていました。君島先生に見つからないように短い靴下を履いたり、自転車のハンドルを曲げることでアイデンティティを確立しようとしていました。(※ごく一部の例です)

女子は CECILMcBEE の紙袋を鞆代わりにし、会いたくて×2震えている女性によく感情移入していました。大きなヘアピン、すぐ割れるプラスチックの四角いケースを持って校舎を闊歩していました。(※ごく一部の例です)

また、葵陵には個性豊かで楽しい先生が多かったです。いつもコロコロで掃除をしている先生、ダンディな先生、やたら声がかい先生、師範、声が裏返る先生、素で「Oops」と言う先生、テストが難しすぎる先生などなど、枚挙にいとまがありません。

本当に多くの先生方のお世話になりました。生意気だった私に正面から向き合ってくれた先生方の存在は、今の自分の人格形成に大きな影響を与えてくれました。お陰で我が校の教育方針『文武不岐』を重んじ、課題と千波湖の白鳥、柔道部の鈴木先生に追いかけ回されながら素晴らしい日々を送ることができました。而立できたかはさておき、打ち込めるものがあったこと、一緒に励んだ仲間がいたことは本当に幸せなことでした。

卒業時に担任の先生から『人に優しく、自分にはもっと優しく』という言葉をいただきました。当時は、自分を甘やかすようで釈然としませんでした。しかし今となれば、この世知辛い世の中で、自分を守りながら強く生きていく大事な言葉になりました。これからも葵陵で学んだことを礎に精進して、描いた夢の実現のために挑戦を続けたいと思えます。

恩師、先輩方、同級生、後輩たちの活躍とご多幸を祈りつつ、皆さんと会える日を楽しみにしています。

改めて創刊誠にありがとうございます。

菅原 将吾 (2012年卒業)



## 現職員より

## 同窓生に向けて

本校は昭和 60 年に水戸短期大学附属水戸高等学校として開校しました。当初は普通科大学進学専攻コース、情報処理商業科、体育科社会体育コースで構成され、情報処理商業科では情報処理検定、珠算検定、簿記検定の取得と、検定を生かした進学、就職を実現することを目標に掲げ、また体育科においては様々なスポーツの技能を身に付け、スケート実習、スキー実習、水泳実習、キャンプ実習の経験を活かして社会貢献することを目標としてきました。さらに校名変更を行い、学科変更により社会のニーズを先取りした教育活動を展開しております。部活動においてもその数を増やし、関東大会や全国大会の出場、入賞、優勝等、実績も

大いに向上しています。これも卒業生の皆様のご厚情と応援の賜物と感謝申し上げます。

最近ではコロナ禍により学校行事も中止を余儀なくされておりますが、生徒、教職員ともにそれらを撥ね退けるべく、勇躍しております。今後は、卒業生の皆様と在校生徒、教職員との交流が深められることを願っております。

皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念しつつ、これからも水戸葵陵高等学校にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

安藤 栄一



## 現在の私

生まれ故郷の佐賀県より遠く離れた茨城県の水戸短期大学附属水戸高等学校（現・水戸葵陵高等学校、昭和 60 年創立）に、昭和 61 年より奉職し、はや 36 年目となりました。現在も体育教師・野球部顧問として生徒たちと共に日々汗を流しております。

同窓生の皆様、お久しぶりです。同窓生の皆様におかれましては、日々多忙な毎日を過ごされ、職場やご家庭においてご活躍のことと拝察申し上げます。

さて、これまでの私の教員生活を振り返りますと、生徒達に対して強引な指導で接してきたように思います。しかし近年は、年齢を重ねて生徒達への接し方も変わってきたようで、来校する卒業生からは「丸くなった」「優しくなった」と褒められ（?）、苦笑している今日この頃です。

部活動では、野球部監督としての責務を 35 年間務めさせていただき、一昨年夏の大会を最後に退任しました。現在は、総監督として悲願の甲子園出場を果たすべく、金崎監督をサポートしております。これまで多くの卒業生が球場に足を運んで下さいました。熱い応援を誠に有難うございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

監督退任後は自分の為に使える時間が増えましたが、興味のある活動や趣味のなかった私は時間を持て余していました。そんな時、知り合いの先生から釣りを勧められました。「海釣り（スズキ、ヒラメ）」「川釣り（アユ）」「溪流釣り（ヤマメ）」に挑戦しました。現在では完全にハマってしまいました。時間が空いた時は、糸を垂らして楽しんでいます。同窓生の皆様も何かひとつ自分で心から楽しめる有意義な時を持つことをお勧めします。心から満たされ、ストレスも解消できるのではないのでしょうか。

最後になりますが、定年退職まであと 2 年となりました。これからも水戸葵陵高等学校の発展の為に、微力ではありますが尽力していきたいと思っております。同窓生の皆様におかれましては、益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。お身体ご自愛され、お元気で過ごして下さい。

池上 昌二



## みんな頑張れ！—同窓会創刊号によせて—

同窓会員の皆様におかれましては、それぞれの道において、ご健勝・ご活躍のこととお慶び申し上げます。またこの度の会報創刊、誠にありがとうございます。

私は昭和 61 年、水戸葵陵高校の前身である水戸短大附属水戸高校の 2 期生とともに本校の門をくぐり、早 36 年目を迎えました。来年 3 月には定年となります。思い起こせば、昨日のごとく当時は懐かしく思い、月日の流れは早いものと、今更のように思う次第です。当時の生徒さんたちも（私としてはまだ 18 歳のまま心の中で止まっているのですが）もう 50 代となり、それぞれの社会の中で中核として活躍している状況を聞くと、大変喜ばしく思います。

新任の頃は、教職の理想に燃え、若さ故突っ走ることも度々あり、もう無我夢中で校務に邁進する日々でした。私にとっては憧れの転職であり、27 歳、後はないものと覚悟を決め必死でした。同期が 14 人いましたが、今はたったの 3 人。教職の厳しさ難しさを肌で感じることもしばしば。また夢や希望も日々の生活に埋没していききました。しかし、その度に心の支えとなってくれたのはやはり生徒さんたちであり、生徒さんたちがいたからこそ頑張れました。むしろ私の教職人生は生徒さんたちに育てられたものであり、感謝の一言しかありません。

近頃つくづく思うことは、すべての物事には必ず終わりがあるということ。有頂天になってこの世の春を謳歌することもあれば、どん底に突き落とされふてくることもある。良いことも悪いことも永遠に続かないということ。どの文献だったか忘れましたが、人が生きるにおいて、その大小にかかわらず、必ず経験する 4 つの苦しみがあるそうです。一つは病氣や怪我の苦しみ、二つ目はお金の苦しみ、三つ目は人間関係の苦しみ、四つ目は仕事の苦しみだそうです。人それぞれの状況において原因と結果があり、様々な解釈が出来るとは思いますが、どのような壁が立ちかはだかろうともそれは必ず終わりが有ること。だから焦らず、怒らず、悲しまず、小さくまとまらないで、大きな心を持つこと。その経験が、将来の日本及び世界の幸せを担う次の時代の人材の育成に必ずなり得ます。まさしく「朝の来ない夜はない」です。

同窓会員の皆様の、それぞれの道での益々の発展を願うとともに、今後ご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

益子 一也





水戸葵陵高等学校進学状況

令和4年3月卒業生の学部別進学数（実数）

大学別	人文	法学 政治	商学 経済	社会 その他	理学	工学	農学	保健 (医)	保健 (歯)	保健 (薬)	保健 (看護・ その他)	家政	教育 (教育学・ 教員養成)	教育 (体育・ その他)	芸術	その他	計
国立大(男)	1		1			1								1			4
国立大(女)											1						2
公立大(男)						1											1
公立大(女)						1		1			4						6
私立大(男)	13	8	9	20	1	13	1	1	1	1	14	1	1	9	1	7	100
私立大(女)	3	1	3	9		1	1	1		1	14	3		3	1	3	44
文部科学省所管外の大学校(男)																	0
文部科学省所管外の大学校(女)																	0
計	17	9	13	29	2	17	2	2	1	2	33	4	1	13	2	10	157

国外の大学は除く。

進学コーディネーター 長 澤 暢 通 正

水戸葵陵高校の部活動

現在、本校では運動部 14、文化部 8、同好会 6 の計 28 団体で活動しています。全国有数の強豪校として知られる剣道部をはじめ、柔道部、スキー部、サッカー部、野球部など、現在も活発に活動しています。近年は駅伝部、バスケットボール部などの活躍も目覚ましく、関東大会出場、県大会上位入賞など、着実に実績を伸ばしています。文化部も近年ますます活発に活動しており、書道部や将棋部はもはや全国区の活躍で、特に書道部はマスメディアにも多く露出しており、皆さんの目にも触れていることと思います。令和4年度には、e-sports 同好会とダンス同好会も活動を始めます。

これからも水戸葵陵高校の部活動、同好会はますます活発に活動していきます。機会があれば様々なかたちでご支援をお願いいたします。

特活指導部長 海野 宏一

部活動一覧

○運動部

硬式野球部 サッカー部 男子バスケットボール部 女子バスケットボール部 バレーボール部  
男子柔道部 女子柔道部 男子剣道部 女子剣道部 卓球部 スキー部 山岳部 駅伝部 ソフトテニス部

○文化部

プラスバンド部 美術部 書道部 華道部 文芸部 生物部 将棋部 演劇部

○同好会

天文・気象同好会 地理・歴史研究会 写真同好会 クッキング同好会 リベラルアーツ同好会 フェンシング同好会

運動部の主な実績（※は今年度、関東大会茨城県予選の結果）

男子剣道部	団体 インターハイ全国優勝（2回） 魁星旗全国優勝（5回） 全国選抜準優勝（3回） 玉竜旗全国準優勝（2回） 国民体育大会優勝 他 個人 インターハイ全国優勝4名 他 ※令和4年度関東大会茨城県予選大会団体優勝（関東大会出場）、個人優勝及び3位（関東大会出場）
女子剣道部	団体 インターハイ全国ベスト8 他 個人 インターハイ全国3位 他 ※令和4年度関東大会茨城県予選第5位（関東大会出場） 個人5位（関東大会出場）
男子柔道部	団体 インターハイ出場、全国選手権出場 他 個人 インターベスト8（5回） 他 ※令和4年度関東大会県予選団体第5位（関東大会出場）
女子柔道部	団体 全国選手権準優勝 インターハイ全国準優勝 インターハイ全国3位 他 ※令和4年度関東大会県予選団体第3位（関東大会出場）
スキー部	インターハイ出場 国民体育大会出場 関東大会優勝 他
サッカー部	関東大会出場 インターハイ出場 全国高校選手権茨城県予選3位（2回） 他

野球部	関東大会ベスト16 夏季選手権茨城大会ベスト4 (2回) 他
駅伝部	駅伝 関東大会出場 県高校新人駅伝5位 県高校駅伝5位 他 個人 県個人選手権1500m優勝 県高校総体1500m5位 他 ※令和4年度県高校総体1500m優勝(大会新記録) 5000m 優勝(ともに関東大会出場)
ソフトテニス部	関東大会出場
女子バスケットボール部	※令和4年度関東大会茨城県予選ベスト4
フェンシング同好会	インターハイ出場 関東大会出場 他 ※令和4年度関東大会県予選団体優勝(関東大会出場) 個人優勝及び第3位(関東大会出場)

## 文化部の主な実績

書道部	全国高等学校総合文化祭書道部門出品 全国高等学校書道パフォーマンス甲子園ベスト8 全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ準優勝 他
将棋部	全国高等学校総合文化祭将棋部門女子団体出場 関東地区高等学校文化連盟将棋大会女子個人出場(2名) 全国高等学校文化連盟将棋大会女子個人出場 他
文芸部	短歌甲子園団体準優勝 短歌甲子園個人各賞受賞者多数 全国高等学校総合文化祭文芸部門文化連盟賞 他

## 水戸葵陵高等学校の生徒会活動の記録(令和3年度)

水戸葵陵高等学校では、生徒会主催の様々な学校行事を行っております。以下はその代表的な活動です。近年は新型コロナウイルスの影響で実施ができなかったり、規模を縮小したり、非公開で行ったりと、満足のいく活動はできませんでしたが、今後は多くの行事を公開して行う予定です。機会があれば是非足を運んで下さい。

## ・文化祭

コロナの影響で一昨年(令和2年)は実施することができなかった文化祭ですが、令和3年度は6月18日に24回目となる文化祭を実施することができました。コロナ禍で実施した今回の文化祭では、プラスバンドの演奏、書道パフォーマンスやピアノ演奏等をリモート中継しました。また、クラス自慢動画を作成するなど新しい形の文化祭を行うことができました。

## ・教養講座・女性講座

毎年10月にキャリア教育の一環として行っている行事で、昨年は10月29日に教養講座・女性講座を行いました。陸・海・空の自衛官の方をお呼びして、実際の経験談を踏まえて「働く」ということについてお話をいただきました。災害や疾病など我々を取り巻く環境が大きく変わろうとしている今、「働く」ということについて改めて考えることができました。

## ・芸術鑑賞会

12月17日に今回で14回目となる芸術鑑賞会を行いました。第1回は茨城県出身の寺内タケシさんの公演でした。毎回音楽、演劇、古典芸能の各分野で活躍するアーティストをお招きしており、今回は、紅白歌合戦にも出場しているシャンソン歌手のクミコさんの歌を聴くことができました。シャンソンの曲を日本語で歌われており、とても親しみやすくシャンソンに触れることができました。

## ・特別講演会(講演者 瀧 靖之)

3月15日には文化講演会として、東北大学加齢医学研究所教授の瀧靖之先生をお招きして特別講演会を行いました。先生は脳の発達や加齢について研究されており、講演では脳のメカニズムについてご講話いただきました。特に、効率の良い勉強の方法や進路に向けてのお話はとても有益な情報であり、実行していこうと思う内容でした。

特活指導部長 海野 宏一



**KIRYO Open School**  
学校見学会  
7/30・31・8/1  
入試説明会  
10/10  
入試体験横試  
10/16・11/3  
個別なんでも相談会  
11/12・19・12/3  
2/4

**水戸葵陵高等学校**  
〒310-0851 茨城県水戸市下妻町249-1  
TEL 029-243-7750  
FAX 029-243-7718  
http://www.kiryoschool.ac.jp/ e-mail: open@kiryoschool.ac.jp



## 同窓会報の原稿募集！！

水戸葵陵高等学校同窓会報は、年1回発行を目指しております。同窓生の皆様の近況や母校への温かい叱咤激励の文などを会報に掲載したいと思っております。是非ご協力をお願いします。

1. 文字数に指定はありません。書式も自由です。
2. できればお写真など、ご提供いただければと思います。(もちろん任意です)
3. いつでも募集しております。
4. 送付先 〒310-0851 茨城県水戸市千波町 2369-3 水戸葵陵高等学校同窓会担当宛  
メール kiryo@kiryo.ac.jp または koshikawa@kiryo.ac.jp
5. お問い合わせ 水戸葵陵高等学校同窓会担当 Tel029-243-7718 (代表)

## 水戸葵陵高校のHPに同窓会のページを作成予定！！

水戸葵陵高等学校のホームページでは、在校生の近況が詳しく掲載されております。是非目を通してください。なお、葵陵のホームページに同窓会のページを作成する予定です。今年9月中の開設を目指し、鋭意作成中です。お楽しみに。また、こちらのページでは「クラス会を開くよ」や「今度母校に遊びに行くけど、だれか一緒に行きませんか」など、同窓生の情報交換、交流の場に使っていただければと思っております。詳細は未定ですが、何かアイデアやお問い合わせがあれば、水戸葵陵高校同窓会担当者までご一報ください。

### 同窓会報作成のお手伝い募集！！

会報作成のお手伝いをしていただける方を募集いたします。  
興味のある方がいらっしゃいましたら、水戸葵陵高校同窓会担当までご連絡ください。



普通教室



体育館



2Fホール

### 編集後記

水戸短期大学附属水戸高等学校同窓会が設立された昭和63年4月から早34年の月日が流れ、この度ようやく同窓会報創刊の運びとなりました。ここまでたどり着くのに、多くの方々のご支援とご協力があったことは言うまでもありません。編集に携わった者の一人として大変うれしく思います。特に今回、お忙しい中寄稿していただいた同窓生の皆様、先生方、誠に有難うございました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

さて、問題はこれからです。葵陵同窓会がますます繁栄するためには、同窓生の皆様のご協力、ご支援が必要です。そしてこの会の活動が在校生の手助けとなり、葵陵の発展に繋がってくれることを心より祈りたいと思います。

水戸葵陵高等学校同窓会報編集委員

お問合せ・近況・メッセージ・住所変更等は・・・・・・・・

### お問い合わせ（住所変更等はこちらへ）

☆

ダイヤル 0120-10-9899 (内線 103) 平日 10:00~17:00

✂

F A X 0120-10-9184 (終日受付)

